

## 新型コロナが再び感染爆発…緊急事態宣言で「休むも相場」か（中西文行）

7/22 日刊ゲンダイ



毎朝行くフリーWi-Fiのあるファミレスは、テーブルの亚克力板がなくなり、ドリンクバーの使い捨て手袋もなくなった。ステーキレストランでもテーブルの亚克力板は撤去された。一部のファミレスでは、配膳に中国製ロボットを導入、感染対策と省人化の両立とコロナ禍への警戒感が薄れ、コロナ禍前に戻りつつある。

### ■夏祭りや花火大会の中止相次ぐ

そのような日常の中、地元自治体の広報誌が届いた。そこには住民が楽しみにしている「夏祭り」「花火大会」の中止が記載されていた。自治会役員会では、先月まで地域の友好のため、規模を縮小して3年ぶりに夏祭り開催と決まり、やぐら建て、焼き鳥、綿あめ、金魚すくい、焼きそば、かき氷など役員分担を決めたが、週初に今年も「感染」を警戒して中止と決まった。

日本で新型コロナウイルスの感染者数がかなり話題に上り始めた2020年5月末の時点で米国の累計感染者数は世界一の177万人、累計死者数10万人、日本は同1万6911人、898人だった。それが22年7月16日時点では、米国は同8945万人、102万人、日本は1022万人、3万1585人とワクチン接種にもかかわらず激増した。

対して、人口14億人、経済活動を止めるロックダウンの中国は同8万3001人、4634人から22年7月16日時点で89万人、死者数は5226人である。「人命と経済」どちらが大事なのだろうか。

新型コロナウイルス感染者数（22年7月16日時点）は、米国が世界全体の5分の1、死者数で4分の1を占めている。人口当たりの新型コロナウイルス感染率（感染者数/人口=22年推計）は、米国27%、イギリス34%、ドイツ35%、フランス48%、日本は8%、中国0.1%である。致死率（死亡者数/人口=同）は米国0.3%、イギリス0.3%、ドイツ0.1%、フランス0.2%、日本0.02%、中国0.00%である。

米国のバイデン政権は7月12日、米国の新型コロナウイルス感染者の80%がオミクロン株新派生型のBA.4またはBA.5であることを受け、感染者の多いBA.5を克服するための戦略を発表。内容は①人々がワクチン接種および追加の接種を受けやすいようにする②新型コロナウイルス感染の治療へのアクセスを容易にし、医療機関と患者における認知度を向上させる③自宅での実施を含む無料の新型コロナウイルス感染検査を、幅広い範囲で利用可能にする④無料で良質のマスクを広範囲で入手可能にし、どのような場面で着用すべきかの明確な推奨内容を伝わりやすくする⑤免疫疾病のある人を守ることを優先⑥全ての建物所有者に対し、換気を改善するよう促す——などとなっている。

岸田政権は、新型コロナウイルス感染に対して「行動制限」など必要ないとしているが、「まん延防止等重点措置」や「緊急事態宣言」を再度発令すれば、休業支援金・給付金、持続化給付金、家賃支援給付金など各種事務手続き、財源確保などの難題に直面する。「感染爆発」ともみられる夏休みがくる。「休むも相場」。健康維持も投資も慎重に臨みたい。（中西文行/「ロータス投資研究所」代表）